イベントスケジュール／開館日のご案内

■印は休館日

※各種展覧会やイベント、申込等の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。　※記載内容に関しましては、変更される場合がございます。

平山郁夫館 第Ⅲ期 4/7(日)迄

4月13日(土)～9月16日(月・祝)　平山郁夫館 第Ⅰ期

9月21日(土)～12月1日(日)　平山郁夫展 シルクロード ―絲綢之路・悠久の旅路―

12月4日(水)～3月30日(日)　平山郁夫館 第Ⅱ期

佐藤忠良館 第Ⅲ期 4/7(日)迄

4月13日(土)～7月21日(日)　佐藤忠良館 第Ⅰ期

7月23日(火)～11月4日(月・祝)　佐藤忠良館 第Ⅱ期

11月6日(水)～3月30日(日)　佐藤忠良館 第Ⅲ期　新収蔵素描展

樂吉左衛門館 吉左衛門X　暗闇の音　静寂の光 4/7(日)迄

4月13日(土)～9月16日(月・祝)　樂吉左衛門館 voyage　樂吉左衛門展(2007～2012年)の軌跡

9月21日(土)～3月30日(日)　樂吉左衛門館 吉左衛門X　― 上原美智子 染織 ＋ 樂吉左衛門 陶・茶入 ― 土田半四郎 仕服

特別展示室

4月27日(土)～6月23日(日)　千住博が描く 源氏物語展 ―平安王朝の空をみつめて―

7月13日(土)～9月1日(日)　安野光雅展 ―あんのさんのしごと―

9月21日(土)～12月1日(日)　平山郁夫展 シルクロード ―絲綢之路・悠久の旅路―

2月1日(土)～2月23日(日)　第5回 こども絵画コンクール優秀作品展

4月20日(土)　呈茶 立礼席

6月8日(土)・9日(日)　第4回 青蘆茶会

7月6日(土)　呈茶 立礼席

9月22日(日)　特別記念茶会

10月19日(土)　呈茶 立礼席

11月16日(土)・17日(日)　第4回 寒蘆茶会

12月11日(水)　第5回 蘆聚茶会

3月1日(土)　呈茶 立礼席

8月3日(土)・4日(日)　きっずみゅーじあむ ワークショップ　サマーフェスタ

9月14日(土) 18:00～19:00　トワイライトコンサート(第1夜)

9月21日(土) 18:00～19:00　トワイライトコンサート(第2夜)

12月21日(土)　きっずみゅーじあむ ワークショップ　クリスマスフェスタ

2013年3月22日(金)
佐川美術館
15周年記念
15th ANNIVERSARY
SAGAWA ART MUSEUM

2013年度企画展の紹介　SAGAWA ART MUSEUM SPECIAL EXHIBITION 2013

千住博が描く源氏物語展

平安王朝の空をみつめて
4月27日(土)～6月23日(日)

《桐壺》

日本画家・千住博氏が5年の歳月をかけて挑んだ作品《源氏物語》。全54帖と章立てされていない「輝く日の宮」「光源氏」「雲隠」の3帖を加えた全57帖にもおよぶ、壮大な平安王朝絵巻。「千年前も存在したであろう和紙と岩絵具を駆使して、平安時代の空を今にうつしたかったのです」と語る氏の作品は、一貫したテーマとなる"空"の景色が物語に合わせて描かれています。繊細な筆遣いと幽玄な色彩により、1000年の時を超えて甦る平安王朝の世界観をご紹介します。

安野光雅展

あんのさんのしごと
7月13日(土)～9月1日(日)

《ふしぎなえ》1968年

安野光雅氏がこれまで携わってきた様々な仕事より、絵本作家としてのしごと、風景画や挿絵といった画家としてのしごと、本の装丁やポスターといったデザイナーとしてのしごと、エッセイなど文筆家としてのしごと、教科書づくりといった教育者としてのしごと…と様々な仕事を通して多彩な活動を続ける安野氏の魅力を安野光雅美術館が所蔵する『ふしぎな絵』をはじめとする代表作によりご紹介します。※掲載作品は安野光雅美術館蔵

平山郁夫展

シルクロード
絲綢之路・悠久の旅路
9月21日(土)～12月1日(日)

《アフガニスタンの砂漠を行く・朝》2007年

壮大なる旅路・シルクロードを描いてきた平山郁夫氏。本展ではシルクロードの終着地・日本を出発して東から西へと中国、中央アジア、西アジア、そしてヨーロッパへ続く道程を平山氏が描いた作品を通して展望します。また、平山郁夫シルクロード美術館が所蔵する西域、インド、パキスタン、アフガニスタンといった各地の文化財を併せて公開し、平山氏の足跡と共にシルクロードの旅路を体感していただきます。※掲載作品は平山郁夫シルクロード美術館蔵

吉左衛門X

上原美智子 染織 ＋ 樂吉左衛門 陶・茶入
土田半四郎 仕服
9月21日(土)～3月30日(日)

《焼貫茶入》2009年

第5回「吉左衛門X」は、無形の精神風土を大切にし、沖縄の新しいものづくりに挑戦しつづけている染織作家・上原美智子氏の染織の世界と、織られた布を使って、樂吉左衛門作品(茶入)を包む仕服を千家十職の袋師・土田半四郎氏が制作します。新しいものづくりに挑んだ三人のインスピレーションから生み出された美しき創造の世界をお楽しみいただきます。